

本堂に再び笑い声

宮城・専能寺で落語会

「少しでも笑顔を取り戻してもらいたい」り、巧妙な話芸に本堂と北海道教区の僧侶有志らで組織する「震災支援ネット北海道」は

われた。また、北海道別海町の別海くるみ幼稚園（加藤泰和園長）の園児らが育てたジャガイモ100^キは、ジャガバターやおみやげとして提供された。スタッフの舛田那由

9月28日、東日本大震災で甚大な被害を受けた仙台市宮城野区の専能寺（足利一之住職）で、落語家の笑福亭松喬さんを招いて落語会を開いた。

他さん（むかわ町・法城寺住職）は「仮設住宅に入りホッとした時が逆に大きな孤独感を感じる時だと思う。心のケアが必要で、笑顔を少しでも取り戻してもらいたい」と語った。

津波被害のために立

また前日には、同ネ

入禁止としていた本堂が9月中旬から入れるようになり、会場は本堂。ブルーシートが敷かれ、特設の高座で松喬さんが「手水回し」

ツトは宮城県石巻市の永厳寺（曹洞宗）で、千人風呂プロジェクトに取り組むNPO団体や地元自治会と協力して落語会と炊き出しを行なった。